華氏451の芸術：世界の中心には忘却の海がある

ART Fahrenheit 451: Sailing into the sea of oblivion

Yokohama Triennale 2014
August 1 – November 3, 2014
Yokohama Museum of Art,
Shinko Pier Exhibition Hall

ヨコハマトリエンナーレ2014

2014.8.1［金］—11.3［月・祝］

第1・3木曜日休場

10:00—18:00　※入場は閉場の30分前まで
（8/9、9/13、10/11、11/1は20:00まで開場）

横浜美術館
新港ピア

新港ふ頭展示施設

アーティスティック・ディレクター：森村泰昌
主催：横浜市、（公財）横浜市芸術文化振興財団
NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

第5回 記者会見資料

日時：2014年7月31日（木）　14:00—14:45
会場：横浜美術館 レクチャーホール

ご挨拶	2
展覧会のトピックス	3
全参加作家リスト	4
8月中に開催する主なパブリック・プログラム	5
ヨコハマトリエンナーレ2014を楽しむための来場者サービス ～音声ガイド、カフェ、オリジナルグッズなど～	6
まちにひろがるトリエンナーレ	7
創造界隈拠点連携プログラム	8・9
支援／特別協力／後援／協賛／助成／協力／寄付／認定	10
チケット情報／交通アクセス・案内図	11
これまでの開催実績／横浜トリエンナーレ組織委員会	12

※事業の総称および組織名は「横浜トリエンナーレ」（横浜＝漢字表記）、第5回展の事業名は「ヨコハマトリエンナーレ2014」（ヨコハマ＝カタカナ表記）となります。

ご挨拶

ヨコハマトリエンナーレ2014が、いよいよ開幕します。世界各国から65組、79名のアーティストを迎え、主会場である横浜美術館と新港ピア、市内5か所の創造界隈拠点をはじめ横浜の街全体が、アートに彩られます。

2001年にナショナルプロジェクトとしてスタートした横浜トリエンナーレは、今年で5回目の開催となります。文化芸術の力を活かし、街に新たな価値を創出することを目指す、横浜市の文化芸術創造都市戦略のリーディングプロジェクトとして、定着してきました。今年は、日中韓3か国で開催している「東アジア文化都市2014横浜」の特別事業にも位置づけられています。

作品を通じて、アーティストの感性とエネルギーに触れる。見慣れたはずの横浜の街並みが、新しい顔を見せる。世代や国境を越えた対話、交流が生まれる。アートの力で新たな輝きを放つ横浜の街を、ぜひご堪能いただきたいと思います。

開催にあたりご尽力いただいております全ての皆様に深く感謝申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第5回となるヨコハマトリエンナーレ2014では、美術家の森村泰昌氏がアーティスティック・ディレクターを務め、「華氏451の芸術：世界の中心には忘却の海がある」というタイトルを掲げました。

本展は、どこかに記憶されながらも、忘れ去られてしまった大切なものに目を向け、その大切さについて改めて考え、気づくきっかけを提示しようとするものです。

「『心の眼』で見るものが芸術作品になる。」森村氏は本トリエンナーレの教育プログラム「夏の教室」に参加している中学生、高校生に、こう語りかけました。

来場者の皆様にとって、ヨコハマトリエンナーレ2014が、新しい価値、異なる価値との出会いを促し、そしてこの複雑な時代に生きてゆくための何らかのヒントを見出す機会となれば幸いです。

また、本年もBankART1929や黄金町エリアマネジメントセンターと連携いたします。象の鼻テラス、急な坂スタジオ、ヨコハマ創造都市センター（YCC）のアートプログラムも合わせ、創造都市横浜ならではの「まちにひろがるトリエンナーレ」をお楽しみください。

本トリエンナーレ実現にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

横浜トリエンナーレ組織委員会 名誉会長 代表
横浜市長　林 文子

横浜トリエンナーレ組織委員会委員長
横浜美術館館長　逢坂恵理子

展覧会のトピックス

横浜発、3年に1度の現代アートの国際展
「ヨコハマトリエンナーレ2014」ついに開幕！
2つの序章と11の挿話から構成される、「忘却」を巡る物語が始まる

ヨコハマトリエンナーレ2014［会期：8月1日（金）―11月3日（月・祝）］は、横浜美術館と新港ピア（新港ふ頭展示施設）を主会場として明日、開幕いたします。美術家の森村泰昌がアーティスティック・ディレクターを務め、「華氏451の芸術：世界の中心には忘却の海がある」のタイトルのもと、「2つの序章」と「11の挿話」からなる物語を巡る「忘却」の旅へと来場者を誘います。

1. 国内外より65組79名の作家が参加、400点以上の作品により構成

このたびタリン・サイモン、スタンリー・ブラウン、ジョン・ケージの3名の参加が決定し、本展の参加作家は国内外の65組79名となりました。本展のテーマである「忘却」に着目した、400点を超える作品が来場者を迎えます。

2. 芸術のためのゴミ箱、マイケル・ランディ《アート・ビン》への作品投棄が始まります

美術館のエントランスホールに出現した巨大な「芸術のゴミ箱」に、7月31日（木）の内覧会には、出品作家と森村泰昌が自らの作品を投棄します。今後、2001年の第1回横浜トリエンナーレの参加作家である椿昇などが作品を投棄する予定です。参加を希望する方は、公式ウェブサイト専用ページよりお申込みいただけます。
www.yokohamatriennale.jp/2014/artbin

3. 「世界でたった1冊の本」の頁をめくりながら読むことができます

レイ・ブラッドベリ作『華氏451度』へのオマージュとして、本展のために特別に制作された“世界でたった1冊の本”、『Moe Nai Ko To Ba』。「忘却」というテーマに関わりのある詩や戯曲などが収められており、本展会期中は展示室内で閲覧いただけます。会期中、ロシア語、ドイツ語、タイ語、ベンガル語、韓国語、日本語で書かれたテキストをそれぞれの言語で朗読するパフォーマンスも行われます。

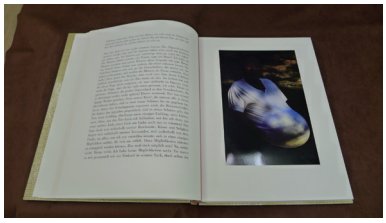

Photo: MORIMURA Yasumasa

4. やなぎみわの移動舞台車横浜に漂着

やなぎみわの《演劇公演「日輪の翼」のための移動舞台車》は演劇公演のために台湾で制作された特注の舞台装置です。舞台車を開閉することによって来場者の前に鮮やかに装飾された舞台が現れます。

やなぎみわ
《演劇公演「日輪の翼」のための移動舞台車》
Photo: SHEN Chao-Liang

全参加作家リスト（アルファベット順）

★：本日発表した作家
YMA：横浜美術館　**P**：新港ピア　**M**：マークイズみなとみらいB4　**N**：nitehi works

	作家名（和）	作家名（英）	出生国	出生年	没年	章・話	会場
A	バス・ヤン・アデル	Bas Jan ADER	オランダ	1942	1975	第11話	P
B	エリック・ボードレール	Eric BAUDELAIRE	アメリカ	1973	—	第 3 話	YMA
	カルメロ・ベルメホ	Karmelo BERMEJO	スペイン	1979	—	第 1 話	YMA
	アリギエロ・ボエッティ	Alighiero BOETTI	イタリア	1940	1994	第 4 話	YMA
	マルセル・ブロータース	Marcel BROODTHAERS	ベルギー	1924	1976	第 1 話	YMA
	スタンリー・ブラウン★	stanley brouwn	—	—	—	第 1 話	YMA
C	ジョン・ケージ★	John CAGE	アメリカ	1912	1992	第 1 話	YMA
	ヴィヤ・セルミンス	Vija CELMINS	ラトビア	1938	—	第 1 話	YMA
	ジョゼフ・コーネル	Joseph CORNELL	アメリカ	1903	1972	第 6 話	YMA
D	ヴィム・デルボア	Wim DELVOYE	ベルギー	1965	—	序　章	YMA（外）
F	福岡アジア美術トリエンナーレ	Fukuoka Asian Art Triennale	—	—	—	第10話	P
	福岡道雄	FUKUOKA Michio	日本	1936	—	第 4 話	YMA
G	ドラ・ガルシア	Dora GARCÍA	スペイン	1965	—	第 3 話	YMA
	イザ・ゲンツケン	Isa GENZKEN	ドイツ	1948	—	第 1 話	YMA
	ギムホンソック	Gimhongsok	韓国	1964	—	序　章	YMA,P,M
	ジャック・ゴールドスタイン	Jack GOLDSTEIN	カナダ	1954	2003	第11話	P
	フェリックス・ゴンザレス＝トレス	Felix GONZALEZ-TORRES	キューバ	1957	1996	第 1 話	YMA
H	イライアス・ハンセン	Elias HANSEN	アメリカ	1979	—	第11話	P
	日埜直彦	HINO Naohiko	日本	1971	—	第11話	P
K	釜ヶ崎芸術大学	Kama Gei	—	2012	—	第 2 話	YMA
	笠原恵実子	KASAHARA Emiko	日本	1963	—	第11話	YMA,P
	葛西絵里香	KASAI Erika	日本	1982	—	第11話	P
	エドワード＆ナンシー・キーンホルツ	Edward & Nancy Reddin KIENHOLZ	アメリカ	1927/1943	1994/—	第 3 話	YMA
	キム・ヨンイク	KIM Yongik	韓国	1947	—	第11話	YMA,P
	木村浩	KIMURA Hiroshi	日本	1952	—	第 1 話	YMA
L	マイケル・ランディ	Michael LANDY	イギリス	1963	—	序　章	YMA
M	ルネ・マグリット	René MAGRITTE	ベルギー	1898	1967	第 1 話	YMA
	カジミール・マレーヴィチ	Kazimir MALEVICH	ロシア帝国（現ウクライナ）	1879	1935	第 1 話	YMA
	アグネス・マーティン	Agnes MARTIN	カナダ	1912	2004	第 1 話	YMA
	松井智惠	MATSUI Chie	日本	1960	—	第 6 話	YMA
	松本竣介	MATSUMOTO Shunsuke	日本	1912	1948	第 3 話	YMA
	松澤宥	MATSUZAWA Yutaka	日本	1922	2006	第11話	P
	アナ・メンディエータ	Ana MENDIETA	キューバ	1948	1985	第11話	P
	三嶋安住＋三嶋りつ惠	MISHIMA Anju + MISHIMA Ritsue	イタリア/日本	1989/1962	—	第 7 話	YMA
	Moe Nai Ko To Ba	Moe Nai Ko To Ba	—	—	—	第 3 話	YMA
	毛利悠子	MOHRI Yuko	日本	1980	—	第 4 話	YMA
	ピエール・モリニエ	Pierre MOLINIER	フランス	1900	1976	第 6 話	YMA
	メルヴィン・モティ	Melvin MOTI	オランダ	1977	—	第11話	P
	村上友晴	MURAKAMI Tomoharu	日本	1938	—	第 1 話	YMA
N	中平卓馬	NAKAHIRA Takuma	日本	1938	—	第 4 話	YMA
	奈良原一高	NARAHARA Ikko	日本	1931	—	第 3 話	YMA
O	大竹伸朗	OHTAKE Shinro	日本	1955	—	第11話	P
	大谷芳久コレクション	OTANI Yoshihisa Collection	—	—	—	第 3 話	YMA
P	ブリンキー・パレルモ	Blinky PALERMO	ドイツ	1943	1977	第 1 話	YMA
R	マイケル・ラコウィッツ	Michael RAKOWITZ	アメリカ	1973	—	第 3 話	YMA
S	坂上チユキ	SAKAGAMI Chiyuki	—	—	—	第 6 話	YMA
	札幌国際芸術祭2014	Sapporo International Art Festival 2014	—	—	—	第 9 話	YMA
	グレゴール・シュナイダー	Gregor SCHNEIDER	ドイツ	1969	—	第 6 話	YMA
	タリン・サイモン★	Taryn SIMON	アメリカ	1975	—	第 3 話	YMA
	ジョシュ・スミス	Josh SMITH	日本	1976	—	第 1 話	YMA
	サイモン・スターリング	Simon STARLING	イギリス	1967	—	第 4 話	YMA
	アリーナ・シャポツニコフ	Alina SZAPOCZNIKOW	ポーランド	1926	1973	第 6 話	YMA
T	高山明／Port B	TAKAYAMA Akira / Port B	日本	1969	—	第 8 話	YMA,N
	Temporary Foundation	Temporary Foundation	—	—	—	第 5 話	YMA
	殿敷侃	TONOSHIKI Tadashi	日本	1942	1992	第11話	P
	トヨダヒトシ	TOYODA Hitoshi	アメリカ	1963	—	第 8 話	横浜市内各所
	土田ヒロミ	TSUCHIDA Hiromi	日本	1939	—	第11話	P
V	ヤン・ヴォー	Danh VO	ベトナム	1975	—	第11話	P
W	和田昌宏	WADA Masahiro	日本	1977	—	第 4 話	YMA
	アンディ・ウォーホル	Andy WARHOL	アメリカ	1928	1987	第 6 話	YMA
	イアン・ウィルソン	Ian WILSON	南アフリカ	1940	—	第 1 話	YMA
Y	やなぎみわ	YANAGI Miwa	日本	1967	—	第11話	P
	吉村益信	YOSHIMURA Masunobu	日本	1932	2011	第 4 話	YMA
Z	アクラム・ザタリ	Akram ZAATARI	レバノン	1966	—	第11話	P
	張恩利（ザン・エンリ）	ZHANG Enli	中国	1965	—	第 4 話	YMA

8月中に開催する主なパブリック・プログラム

会期中、本展の世界観を体感できるアーティストによるプロジェクトや、レクチャー、映像プログラムなど、多様なパブリック・プログラムを開催いたします。（一部事前申込制）
開幕後8月中に開催する主なパブリック・プログラムを紹介します。

アーティスト・プロジェクト

Temporary Foundation「横浜トライアル」

「赤い法廷」を舞台に開催される5回シリーズの裁判の形式を取り入れたイベント。8月15日（金）には、日本を代表するMCでプロデューサーのShing02が「日本国憲法」をラップするほか、会期中様々な分野で活躍する方々がパフォーマンスを行います。

- CASE-1「非人称の光」
  8月6日（水）15:00–17:00　定員：20名
  出演：建畠哲（京都市立芸術大学学長）
  加治屋健司（京都市立芸術大学芸術資源研究センター准教授）
- CASE BY CASE「日本国憲法をラップする By Shing02」
  8月15日（金）15:00–15:30／16:00–16:30／17:00–17:30
  出演：Shing02（MC）／1945 a.k.a. KURANAKA（DJ）

Temporary Foundation
《法と星座 Turn Coat / Turn Court》（完成予想図）
2014
© satoru takahashi

トヨダヒトシ「映像日記／スライドショー」

プリントでも写真集でもなく、スライドショーだけで作品を発表している写真家トヨダヒトシの作品を横浜市内の様々な場所で上映します。

- 8月9日（土）《NAZUNA》[2004-2014、100分]
  19:00–20:40　会場：新港ピア屋外　定員：80名
  （雨天の場合：横浜美術館レクチャーホール）
- 8月15日（金）《spoonfulriver（ひと匙の河）》[2007-2014、80分]
  19:00–20:20　会場：横浜市イギリス館（旧英国総領事公邸）
  定員：30名（事前申込制）

マイケル・ラコウィッツ
トーク＆上映会／パフォーマンス型ディナー

本展出品作品の制作状況を撮影したドキュメンタリービデオの上映＆トークセッションと、現在消滅しつつある料理を作家自身が振る舞うパフォーマンスディナーを開催します。

- 8月27日（水）18:30–20:00　トーク＆上映会
  定員：60名（事前申込制、日本語通訳付）
- 8月28日（木）19:00–21:00　ディナー「ダール・アル=スルフ（和平の家）—あなたは消滅しかけている言語を亡霊の出す皿で食べている：和平の家よりイラク=ユダヤ料理を提供する」
  定員：15名（事前申込制）、有料
  会場（2日間共通）：BUKATSUDO（ランドマークプラザB1F）

アーティスト・トーク　オープニングウィーク特集

8月1日（金）—8月3日（日）に7名の参加作家によるオープニング・トークを開催。日本初出品のマイケル・ランディ、ヴィム・デルボア、イライアス・ハンセンらが登壇します。

- 8月1日（金）　会場：横浜美術館アートギャラリー1（各回定員：50名）
  13:30–14:30　ヴィム・デルボア
  15:00–16:00　サイモン・スターリング
  16:30–17:30　カルメロ・ベルメホ
- 8月2日（土）　会場：新港ピア カフェ・オブリビオン（各回定員：80名）
  13:30–14:30　イライアス・ハンセン
  15:00–16:00　メルヴィン・モティ
  16:30–17:30　やなぎみわ×沈昭良
- 8月3日（日）　会場：横浜美術館レクチャーホール（定員：200名）
  14:00–15:00　マイケル・ランディ

上田假奈代（詩人、ココルーム代表理事）×森村泰昌
「釜ヶ崎芸術大学 in ヨコトリ『芸術と生きる』」

- 8月10日（日）14:00–15:30
  会場：横浜美術館円形フォーラム　定員：100名（事前申込制）

ワークショップ

「オリジナルハンコを作家自身があなたに押す」

本展参加作家の葛西絵里香が、オリジナルハンコを来場者の持ち物や体に押します。

- 8月17日（日）10:30–12:00／13:30–15:00／16:00–17:30
  会場：横浜美術館アートギャラリー2　定員：10名（先着順）

**※その他のパブリック・プログラムや申込方法の詳細については
ヨコハマトリエンナーレ2014の公式ウェブサイト（http://www.yokohamatriennale.jp）へ。**

※9月—10月は映像プログラムが開催されます。9月6日（土）13:30– に映像プログラムのオープニング上映として、フランソワ・トリュフォー監督の《華氏451》（1966年/112分）を特別上映します。上映後には映画作家の大林宣彦による講演会を開催。

ヨコハマトリエンナーレ2014を楽しむための来場者サービス
～音声ガイド、カフェ、オリジナルグッズなど～

アーティスティック・ディレクター森村泰昌が自ら案内する音声ガイド

横浜美術館会場では、本展覧会を企画したアーティスティック・ディレクターの森村泰昌が、自ら展覧会の見どころをご案内する音声ガイド「ボイナビ」をご用意しています。本展の魅力をより深く理解するためのツールとして、ご活用いただけます。
所要時間：約60分、料金：500円（税込）

©Morimura Yasumasa + ROJIAN

横浜トリエンナーレサポーター（ボランティア）による鑑賞ガイダンス＆ギャラリー・ツアー

ヨコトリ2014・ココが見どころ（団体のための事前鑑賞ガイダンス）
団体で来場される方を対象に、展覧会を観覧する前に、本展の見どころや観覧時の注意事項などをコンパクトにお伝えします。20名以上の一般団体、学校団体、障害者団体対象。

ギャラリー・ツアー
サポーターが展示会場を一緒にめぐりながら、ヨコトリ2014の出品作を紹介します。8月中は8月15日（金）以降の金曜日、日曜日の11:00–（各回45分程度）。9月以降は水曜日、金曜日、日曜日の11:00–を予定（各回45分程度）。

公式カフェ＆グッズ

本展会期中のみ特別にオープンするカフェとグッズを紹介します。

Café 小倉山／横浜美術館
横浜美術館Café小倉山が展示空間に。本展出品作家の三嶋りつ恵、三嶋安住親子の作品で構成された「光りの港」で、オリジナルメニューをお楽しみいただけます。

Café 小倉山　「光りの港」

Cafe Oblivion ／新港ピア
本展期間中、新港ピアにオープンする日埜直彦による特別なカフェ。ひとつの物語として構成された本展の最後に登場します。海を眺めながらオリジナルパッケージの焼き菓子セット「菓子451」ほか、オリジナルメニューが楽しめます。

ヨコハマトリエンナーレ2014　オリジナルグッズ
本展のテーマである「忘却」をプリントしたオリジナルのトートバッグやクリアフォルダなど、公式グッズを横浜美術館と新港ピアの公式ショップで販売します。
・トートバッグ（グレー／ピンク）　各¥1,800（以下税込）
・クリアファイル（A4）　¥350
・チケットフォルダ　¥380
・フィールドノート　¥350
・ヨコトリウォーター（500ml）　¥150

公式グッズ トートバッグ

公式グッズ以外にも、ヨコハマトリエンナーレ2014のオリジナルロゴをあしらった応援グッズを多数販売します。
詳しくはヨコトリ2014公式ウェブサイト（www.yokohamatriennale.jp）まで。

まちにひろがるトリエンナーレ

横浜トリエンナーレは「まちにひろがるトリエンナーレ」を掲げ、横浜臨海部の創造界隈拠点をはじめ、市内でクリエイティブな活動に関わる団体や個人と連携し、まち全体を盛り上げ、横浜の魅力を発信していきます。

● 創造界隈拠点連携プログラム（P8参照）

歴史的建造物や倉庫、空きオフィスなどを転用したアーティストやクリエイターの活動・交流の場である5つの創造界隈拠点ではヨコハマトリエンナーレ2014の会期に合わせて多様なアートプログラムが実施されます。

● 連携プログラム

ヨコハマトリエンナーレ2014と特別に連携して開催されるプログラムです。

パブリックビューイング「浮かぶ」
曽谷朝絵が劇場エントランスのアトリウムに新作のインスタレーションを発表。
8月1日（金）―11月3日（月・祝）
会場：KAAT神奈川芸術劇場　アトリウム
（主催：KAAT神奈川芸術劇場／お問合せ：045-633-6500）

‘ヨコトリ’ノーツ
～ヨコハマトリエンナーレ2014出品作家のエスキース～
森村泰昌が監修するヨコハマトリエンナーレ2014出品作家によるエスキースの展覧会。
8月20日（水）―8月26日（火）10:00–20:00（但し、最終日の26日は16:00まで）
会場：横浜髙島屋7階　美術画廊
（主催：横浜髙島屋美術画廊／お問合せ：045-311-5111）

東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻 公開イベント「OPEN STUDIO 2014」
Part1は修士2年による修了制作の中間発表、Part2は修士1年による4つの特別演習の成果を発表。
Part 1: 8月1日（金）―8月3日（日）、Part 2: 8月8日（金）―8月10日（日）
10:00–18:00（9日のみ20:00まで）
会場：東京藝術大学横浜校地新港校舎
（主催：東京藝術大学大学院映像研究科、横浜市
お問合せ：045-210-9297）

東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻 公開講座「OPEN INNOVATION2014」
映画『Present For You』を取り上げ、最新技術と創作感性の関係をゲストを迎えて考察。
9月6日（土）15:00–18:00　会場：東京藝術大学横浜校地馬車道校舎
（主催：東京藝術大学大学院映像研究科、横浜市
お問合せ：045-227-6041）

「やなぎみわStage Trailer Project feat. 東北画は可能か？」
「東北画は可能か？」メンバーが描いたやなぎみわの移動舞台車の装飾の原画を「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ2014」でも展示。
9月20日（土）―10月19日（日）　http://www.tohokuga.com/
（主催：東北芸術工科大学／みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ
お問合せ：023-627-2091）

● 応援企画

ヨコハマトリエンナーレ2014と連携する公募プログラムです。

応援プログラム
本展会期中に、文化芸術拠点・団体等が主催するイベント・企画です。展示、ワークショップ、映像上映、オープンスタジオ等73以上の事業を通して横浜のアートシーンを楽しめます。（7月14日現在）

応援グッズ
ヨコハマトリエンナーレ2014のロゴをあしらった応援グッズ約40品目を公式ショップなどで販売します。

タイアップ企画
周辺商業施設等でヨコハマトリエンナーレ2014のチケットを提示すると、様々な特典・サービスが受けられます。他にも、ホテルの宿泊プランやレストランメニューなど、展覧会を観た後も、横浜のまちを楽しめます。

※詳しくはヨコトリ2014公式ウェブサイト（www.yokohamatriennale.jp）まで。

東アジア文化都市2014横浜特別事業としての開催
東アジア文化都市2014横浜では、「ヨコハマトリエンナーレ2014」を中心的な事業として、現代アートや伝統文化などの文化芸術イベントをとおして、東アジア域内の相互理解を深め、横浜の魅力をアピールします。

交差する、人・アート・文化
東アジア文化都市 2014横浜
Culture City of East Asia 2014, YOKOHAMA

創造界隈拠点連携プログラム

バンカートスタジオ　エヌ・ワイ・ケー
BankART Studio NYK 連携セット券会場

「BankART Life Ⅳ―東アジアの夢」

BankART Studio NYKでは、作品コレクションや展覧会アーカイブ、コンテンツの集積を公開します。文化交流「続・朝鮮通信使」の展開として、東アジア関連作家のレジデンスプログラム、日中韓各都市のツアーと国際会議を開催。また歴史的建造物等を活用し、アートと地域の連携を図ります。

© BankART1929

[主なプログラム]

・BankARTアーカイブ（コレクション、アーカイブ公開2004-2013）
・続・朝鮮通信使2014（パレード、ツアー、会議）
・ランドマークプロジェクトV（歴史的建造物を巡る）
・東アジアレストラン
・under35+cafeLive 2014

会　　期：8月1日（金）―11月3日（月・祝）10:00–19:00
休 場 日：第1・3木曜日
お問合せ：BankART1929　TEL045-663-2812　http://www.bankart1929.com/

はつこう　ひのでちょうちく
初黄・日ノ出町地区 連携セット券会場

「仮想のコミュニティ・アジア―黄金町バザール2014」

2008年より開催しているアートフェスティバル。アジアを中心とした国内外の若手アーティスト約38組の作品を黄金町の街中に展開し、「仮想のコミュニティ」について考える場を作ります。

ライヤー・ベン
《Suger Can lady painting on Sugarmachine Documentary photo collection》2013-2014年

[主なプログラム]

―アジアにおける芸術文化交流シンポジウム―
・8月3日（日）14:00–18:00　特別講演会「アジアの断片」
　横浜市立大学　カメリアホール
・8月4日（月）11:00–17:00　プレゼンテーション
　「アジアの現代アートを探るキーワード」
　YCC3Fスペース
・8月5日（火）11:00–17:00　ラウンドテーブル・ディスカッション
　「振動するアジア」
　高架下スタジオSite-D集会場
・8月6日（水）11:00–17:00　ワークショップ
　「仮想のコミュニティ・アジア」
　高架下スタジオSite-D集会場

Photo: Yasuyuki Kasagi

会　　期：8月1日（金）―11月3日（月・祝）11:00–19:00
休 場 日：第1・3木曜日
お問合せ：認定NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター
　TEL 045-261-5467
　http://www.koganecho.net/koganecho-bazaar-2014/

創造界隈拠点連携プログラム

象の鼻テラス

「ヨコハマ・パラトリエンナーレ2014 」

「障害者」と「多様な分野のプロフェッショナル」の協働から生まれる現代アートの国際展です。障害の有無を超え、誰もが参加できるフェスティバルとして、多彩なプログラムを展開します。

[主なプログラム]

・9月7日（日）16:00–17:00（予定）　「パラトリパレード2014」

会　　期：8月1日（金）—11月3日（月・祝）　期間中無休　※内コア期間［8/1（金）—9/7（日）］
10:00–18:00

お問合せ：象の鼻テラス　TEL 045-661-0602　http://www.paratriennale.net/

Photo: Namiko Kitaura

「ポート・ジャーニー・プロジェクト　ディレクターズ・ミーティング」

世界各国の港町（ハンブルク、メルボルン、サンディエゴ、ナント、ヘルシンキ）からアーティストや文化施設のディレクターを招き、シンポジウムや展示、ワークショップを通じた交流イベントを行います。

[主なプログラム]

・9月13日（土）12:00–　プレゼンテーション＆ディスカッション

会　　期：9月12日（金）—9月14日（日）10:00–22:00（予定）

お問合せ：象の鼻テラス　TEL 045-661-0602　http://www.zounohana.com/

SMART ILLUMINATION YOKOHAMA 2013
Photo: AMANO STUDIO

「スマートイルミネーション横浜2014 」

横浜都心臨海部を舞台にアーティストの創造性と、LED 照明や太陽光発電等これからの時代に不可欠となる省エネルギー技術を融合させ、新たな夜景の創造を試みるアートイベント。

会　　期：10月30日（木）—11月3日（月・祝）　期間中無休　17:00–22:00（予定）

お問合せ：スマートイルミネーションイベント事務局
TEL 045-633-9660　http://www.smart-illumination.jp/

※プログラムは変更する可能性があります。詳細はwww.zounohana.com/をご覧下さい。

急な坂スタジオ

「急な坂スタジオ×マームとジプシー『歩行と移動』」

急な坂スタジオのサポートアーティストが横浜の街にかかわる複数のモチーフを元に作った映像作品を市内各所に展示し、思いもよらない形や場所で作品に出会うきっかけを作ります。

会　　期：9月1日（月）—30日（火）（予定）　※休場日・時間未定

会　　場：總持寺、象の鼻テラス、急な坂スタジオ　他

お問合せ：急な坂スタジオ　TEL 045-250-5388　http://kyunasaka.jp/

© Takaki Sudo

ヨコハマ創造都市センター（YCC）

「Find　ASIA— 横浜で出逢う、アジアの創造の担い手」

アーティストがプロデュースするカフェ＆ラウンジをオープン。日中韓の現代アートの展示やスクールイベントなどさまざまなイベントを同時開催し、人が交流する場を提供します。

[主なプログラム]

・カフェ by LPACK：Yokoso Cocowa Cafedesu@1Fホール
・JI Lei（吉磊／ジー・レイ）in 横浜（公開制作）@3Fラウンジ Space Space内
　8月1日（金）—9月5日（金）　公開制作
　9月6日（土）—11月3日（月・祝）　個展

会　　期：8月1日（金）— 11月3日（月・祝）11:00–19:00　※休館日：8/11、9/8、10/14

お問合せ：ヨコハマ創造都市センター（YCC）（［公財］横浜市芸術文化振興財団）
TEL 045-221-0325　http://ycc.yafjp.org/findasia

支援／特別協力／後援／協賛／助成／協力／寄付／認定

支援　文化庁（国際芸術フェスティバル支援事業）

特別協力　独立行政法人国際交流基金

後援　外務省、神奈川県、神奈川新聞社、tvk（テレビ神奈川）、スペイン大使館、駐日韓国大使館韓国文化院
中華人民共和国駐日本国大使館、Goethe-Institut Tokyo東京ドイツ文化センター、ベルギー大使館

協賛　コロワイド　NHKニッパツ 日本発条株式会社　三井不動産グループ　人を、想う力。街を、想う力。三菱地所グループ　森ビル MORI BUILDING　LIXIL Link to Good Living　STARTS スターツ　Nice ナイス　DNP 大日本印刷　Takashimaya YOKOHAMA　NISSAN　FUJITSU 富士通エフサス　横浜銀行　Asahi　UYENO 上野トランスポート株式会社　NTT東日本　大林組　川本工業　Kitamura　崎陽軒　サカタのタネ　SHISEIDO　JTB　NEC　原鉄道模型博物館　FUJI xerox　横浜信用金庫

株式会社トロンマネージメント、ニコン、みなとみらい二十一熱供給株式会社

助成　ポーラ美術振興財団　mondriaan fund　asian cultural council　東京倶楽部　SASAKAWA FOUNDATION　INSTITUT FRANÇAIS　BRITISH COUNCIL　ifa Institut für Auslandsbeziehungen　FLANDERS CENTER　AC/E ACCIÓN CULTURAL ESPAÑOLA　DUTCH ART & DESIGN

協力　NECディスプレイソリューションズ株式会社　住友ベークライト株式会社　KIG POWER　JAPAN AIRLINES　COLOR KINETICS JAPAN　キクシマ　SOGO 横浜　横浜高速鉄道 みなとみらい線 Minatomirai Line　横浜市交通局　spiral

ターナー色彩株式会社、山ノ手写真製作所

寄付　日揮株式会社

認定　公益社団法人 企業メセナ協議会

チケット情報

前売券販売期間　2014年4月25日（金）— 7月31日（木）
当日券販売期間　2014年8月1日（金）— 11月3日（月・祝）
チケット販売窓口　横浜美術館、新港ピア、鉄道駅売店、プレイガイド等で販売
※他詳細はヨコハマトリエンナーレ2014公式ウェブサイトをご覧ください。

チケット販売に関するお問合せ
チケット販売センター　TEL 045-461-3636（株式会社相鉄エージェンシー内）　平日10:00–12:00／13:00–17:00

			一般	大学・専門学校生	高校生
連携セット券※	ヨコハマトリエンナーレ2014 ＋ 創造界隈拠点連携プログラム（BankART Life Ⅳ 黄金町バザール2014）	前売券	2,000円	1,500円	1,100円
		当日券	2,400円	1,800円	1,400円
単体券	ヨコハマトリエンナーレ2014	前売券	1,400円	900円	500円
		当日券	1,800円	1,200円	800円

※ヨコハマトリエンナーレ2014と創造界隈拠点連携プログラム「BankART Life Ⅳ」及び「黄金町バザール2014」にご入場いただけるお得なセット券。連携セット券は各連携会場で会期中有効のフリーパスと引き換えます
- ヨコハマトリエンナーレ2014 チケットは、1会場1日有効
- 中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
- 会場で20名以上同一券種の当日券購入の場合、それぞれ200円引き

交通アクセス・案内図

主会場交通案内

横浜美術館／横浜市西区みなとみらい3-4-1
みなとみらい線（東急東横線直通）「みなとみらい駅」下車、3番出口より徒歩3分
JR線及び、横浜市営地下鉄線「桜木町駅」下車、「動く歩道」を利用、徒歩10分

新港ピア（新港ふ頭展示施設）／横浜市中区新港2-5
みなとみらい線（東急東横線直通）「馬車道駅」下車、6番出口より徒歩13分

会場間無料バス

主会場（横浜美術館、新港ピア）や創造界隈拠点連携会場間の移動は「会場間無料バス」をご利用ください。
連携セット券会場（BankART Studio NYK、初黄・日ノ出町地区）へのアクセスに便利です。

乗降ポイント
横浜美術館、新港ピア、海岸通りエリア（神奈川県警察本部前）、黄金町エリア（かいだん広場）
＊その他の交通手段として、公共交通機関（市営バス、あかいくつ、みなとみらい100円バス）、横浜コミュニティサイクル「ベイバイク」、ワンウェイ型カーシェアリング「チョイモビ」や海上アクセスには「シーバス」などをご利用いただけます。
＊「ベイバイク」（http://docomo-cycle.jp/yokohama/）、「チョイモビ」（http://www.choi-mobi.com/）は利用に際して事前登録などが必要です。

お問い合せ先
横浜トリエンナーレ組織委員会
ハローダイヤル［日本語］03-5777-8600
050-5541-8600（8:00–22:00）
Information [English]　03-5405-8686（9:00–18:00）
ヨコハマトリエンナーレ2014公式ウェブサイト
www.yokohamatriennale.jp

これまでの開催実績

開催年	2001年（第1回）	2005年（第2回）	2008年（第3回）	2011年（第4回）
テーマ／展覧会タイトル	メガ・ウェイブ ―新たな総合に向けて	アートサーカス ［日常からの跳躍］	TIME CREVASSE タイムクレヴァス	OUR MAGIC HOUR ―世界はどこまで知ることができるか?―
ディレクター／キュレーター	［アーティスティック・ディレクター］ 河本信治 建畠 哲 中村信夫 南條史生	［総合ディレクター］ 川俣 正 ［キュレーター］ 天野太郎 芹沢高志 山野真悟	［総合ディレクター］ 水沢 勉 ［キュレーター］ ダニエル・バーンバウム フー・ファン 三宅暁子 ハンス・ウルリッヒ・オブリスト ベアトリクス・ルフ	［総合ディレクター］ 逢坂恵理子 ［アーティスティック・ディレクター］ 三木あき子
会期（開場日数）	9月2日―11月11日 （67日間）	9月28日―12月18日 （82日間）	9月13日―11月30日 （79日間）	8月6日―11月6日 （83日間）
主会場	［2会場］ ・パシフィコ横浜展示ホール ・横浜赤レンガ倉庫1号館	［1会場］ ・山下ふ頭3・4号上屋	［4会場］ ・新港ピア ・日本郵船海岸通倉庫 （BankART Studio NYK） ・横浜赤レンガ倉庫1号館 ・三渓園	［2会場］ ・横浜美術館 ・日本郵船海岸通倉庫 （BankART Studio NYK）
参加作家数	109作家	86作家	72作家	77組（79作家）／1コレクション
総事業費	約7億円	約9億円	約9億円	約9億円
総入場者数（有料入場者）※	約35万人（約15万人）	約19万人（約16万人）	約55万人（約31万人）	約33万人（約30万人）
チケット販売枚数	約17万枚	約12万枚	約9万枚	約17 万枚
ボランティア登録者数	719人	1,222人	1,510人	940人
主催者	国際交流基金 横浜市 NHK 朝日新聞社 横浜トリエンナーレ組織委員会	国際交流基金 横浜市 NHK 朝日新聞社 横浜トリエンナーレ組織委員会	国際交流基金 横浜市 NHK 朝日新聞社 横浜トリエンナーレ組織委員会	横浜市 NHK 朝日新聞社 横浜トリエンナーレ組織委員会 共催:(公財) 横浜市芸術文化振興財団

※入場者数は延べ人数

横浜トリエンナーレ組織委員会 （2014.7.31 現在）

横浜トリエンナーレ組織委員会

名誉会長 代表
林 文子（横浜市長）
澄川喜一（［公財］横浜市芸術文化振興財団理事長）
籾井勝人（NHK会長）
木村伊量（朝日新聞社社長）

委員 委員長
逢坂恵理子（横浜美術館館長）
中山こずゑ（横浜市文化観光局長）
大美慶昌（NHK事業部長）
宮田謙一（朝日新聞社企画事業本部長）
櫻井友行（［独法］国際交流基金理事）

外部有識者
高階秀爾（大原美術館館長）
建畠 哲（京都市立芸術大学学長）
宮田亮平（東京藝術大学学長）

アーティスティック・ディレクター 森村泰昌

オブザーバー 舟橋 徹（文化庁文化部芸術文化課長）

監事 渡辺好史（税理士）

事 務 局

開催本部長 矢野修司（横浜市）

事務局長 帆足亜紀（［公財］横浜市芸術文化振興財団）

事務局次長 冨士田美枝子（横浜市）
天野太郎（［公財］横浜市芸術文化振興財団）
福山浩一郎（NHK）
帯金章郎（朝日新聞社）

展覧会企画体制

アーティスティック・ディレクター 森村泰昌

アソシエイト （作家・作品選定過程においてアーティスティック・ディレクターを支援する専門家）
天野太郎（横浜美術館）
大舘奈津子
柏木智雄（横浜美術館）
神谷幸江（広島市現代美術館）
林 寿美（インディペンデント・キュレーター）

会場空間構成 日埜直彦（日埜建築設計事務所）

本リリースに関するお問合せ

ヨコハマトリエンナーレ2014広報事務局
（株式会社ユース・プラニング センター　担当：浅野・池袋・岩川・鈴木）
〒150-8551 東京都渋谷区渋谷1-3-9 東海堂渋谷ビル3F
TEL：03-3486-0575　FAX：03-3499-0958　E-mail：yt2014@ypcpr.com

ヨコハマトリエンナーレ2014に関するお問合せ

横浜トリエンナーレ組織委員会事務局（担当：武井）
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1 横浜美術館内
TEL 045-663-7232（平日10:00–18:00）　FAX 045-681-7606
URL http://www.yokohamatriennale.jp